

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進		
施策のねらい(めざす姿)	地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	西山 珠樹

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	待機児童の解消を継続するため、民間保育所等の誘致及び放課後児童クラブ施設の整備改修を行うなど「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援策を実施していく。	③改革・改善内容	待機児童の解消を継続するため、民間保育所等の誘致及び放課後児童クラブ施設の整備改修を行うなど「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援策を実施していく。
②①に基づく取り組み結果	「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童対策の継続、地域の様々な子育て支援策を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	18歳までの児童とその家庭	意図(対象をどうするのか)	子どもとその家庭が社会全体で支援されている。
②施策の概要	社会全体で子育てを支えるため、待機児童対策の継続、地域の子育て支援策の実施、子ども医療費の拡大等様々な子育て支援策を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急速な少子化の進行と家庭、地域、雇用など子ども・子育てを取り巻く環境は変化しており、「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、質の高い教育・保育の提供、待機児童対策の継続、地域の子ども・子育て支援策の更なる充実に取り組んでいかなければならない。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	平成29年度:民間保育園整備、小規模保育事業整備、つどいの広場事業など 平成30年度:民間保育園整備、小規模保育事業整備、放課後児童クラブ施設整備、つどいの広場など						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	合計特殊出生率	人	1.28	1.28	集計中	1.34
	ii	保育所待機児童数	人	0	0	0	0
	iii	就学前人口に対する保育所入所率	%	25.2	26.6	29.5	18.0
③基本事業成果指標	i	家庭児童相談室受付件数	件	9,328	9,406	14,345	8,000
	ii	保育所定員数	人	1,319	1,428	1,526	1,545
	iii	放課後児童クラブ(学童クラブ)定員数	人	631	631	806	721
	iv	ファミリーサポートセンター利用件数	件	2,120	2,679	3,476	2,300
	v	児童センター利用者数	人	127,127	107,405	114,240	130,000
	vi	子ども医療費受給資格児童数	人	14,366	14,783	14,521	14,954
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	4,541,021	4,465,773	(単位:円) 40,827 円		5,205,239		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度から「鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画」等に基づき待機児童対策の継続、様々な子育て支援策、幼児教育の無償化を実施していくが、市の一般財源の負担増が課題である。また、平成31年度をもって、本計画が終了することから、利用者のニーズを踏まえ、次期計画を策定する必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	保育所の待機児童は年度当初に解消したが、年度途中では発生している状況であることから、引き続き解消策を継続しなければならない。また、他の子育て支援策についても、更なる質の向上を図っていかなければならない。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	子育て支援策の拡充は市の重点施策であり、その充実により子育て世代にとって魅力ある街づくりを進めていくことが必要である。
③特に重点化する事務事業	市立保育園の管理運営に要する経費